

## Q&A

### (2) 治療しなかったら、病院へ行かなくて良いのですか？

無症候性くも膜のう胞が見つかって、手術を行わないで経過を観察する際は、病気が発見された年齢によって観察のあり方が違います。胎児診断されたお子様、新生児や乳児期に発見された場合は、1~2か月後にCTまたはMRIを再検査して、その6か月後、以後1年毎に就学期まで画像検査を行う施設が多いようです。また2歳以降であれば、同様に1年毎に就学前まで検査を続けます。一方、学童期以降に発見された場合は、6か月~1年後に再検査を行って、変化を認めなければ終了。もしも何らかの症状が出現したり、頭部を打撲した際はCT/MRIを撮像すべきです。

